

SillHa運用事例レポート



POINT1

患者さんに検査実施を承諾してもらえるポイント

検査の案内は、初診時に2回実施しています。



その日の担当の歯科助手

1

まず初診カウンセリングのスライドにて、
唾液検査というものがあることを簡単に紹介します。

2

- ・パノラマ・口腔内写真・歯周病検査の検査結果報告
- ・主訴部分の状態・全身疾患や現在の口腔ケアの方法・間食について聞き取り
- ・現在までのセルフケアやお口の状態について振り返り



その日の担当の歯科衛生士

3

・その後に改めて唾液検査の案内を実施



POINT

患者さんは検査結果や問診を重ねたことで、**自分自身の口腔内に興味が出てきている状態**のため、唾液検査を実施することでさらに知りたいという思いが沸き、約9割の患者さんから検査の承諾をいただいています。

その日の担当の歯科衛生士



POINT2

フィードバック時のポイント



POINT

唾液検査の結果だけではなく

・初回に行った検査結果



・スケーリング時に確認したプラークの状態

・口腔内の乾燥度合い



・今までの治療や全身疾患について



・現在実施しているケア方法・ケアグッズ

・ご自身の間食の取り方やライフスタイル



なども考慮しながら唾液検査を読み解き、患者さんへのフィードバックに繋げています。



POINT3

検査結果の活用ポイント

初診時だけでなく、メンテナンスやSPTに入る前に

検査結果について、もう一度振り返ってお伝えしています。



POINT

- ・ご自身の検査結果はどのようなものだったか？
- ・せっかく安定した歯周病も、状態が悪化したり、後戻りしてしまうことがあること。
- ・状態が悪化したり、後戻りする可能性が自分にはどのくらいあるのか？

検査結果を見ながら振り返ることで、
今後のメンテナンスやSPTの必要性について理解して頂き、
継続した来院を促しています。

